

APMoA Project, ARCH vol.21

水江未来「DREAMLAND」

MIZUE Mirai : DREAMLAND



水江未来(みずえ・みらい、1981年福岡生まれ)は、インディペンデント・アニメーション作家として、既に10年以上の活動を続け、アヌシー(フランス)、ザグレブ(クロアチア)、オタワ(カナダ)、広島、いわゆる四大アニメーション映画祭のすべてに出品を果たすなど、国際的に実力を認められています。

現在、日本のインディペンデント・アニメーションは活況で、毎年のように若く新しい作家が輩出されています。これらの作品は多くのTVアニメに見られるような、明解な物語性から脱したものが多数存在しますが、人間や動物をモチーフにしたキャラクターが登場し、作品を進行させてゆくパターンが多いのも事実です。こうした中であって、一貫して抽象的な形態をモチーフに制作を続けている水江は、インディペンデント・アニメーションの世界でも稀有な存在であるといえます。

水江の作品は、その描写を細胞レベルから説き起こしている点に特色があります。細胞の増殖や新陳代謝という生命活動をベースにしたアニメーション表現はヴィヴィッドであり、描くことそのものの勢いを感じさせます。そしてその勢いが、作品展開におけるイメージの連鎖と飛躍につながっているといえます。さらに本展で初公開される新作《DREAMLAND》では、生命の循環というモチーフが、人間の創造物である建築や都市のレベルへと展開しています。

本展は国際映画祭の常連作家となった水江が、公立美術館で行う初めて手掛けるインスタレーションとなります。抽象アニメーションをベースに、それを空間的な方向へ展開し

ようとする今回の試みは、彼の新しい可能性を切り開く第一歩となるでしょう。

水江未来（みずえ・みらい）

1981年 福岡県生まれ

2005年 多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業

2007年 多摩美術大学大学院デザイン専攻修了

埼玉県在住

開催概要

会 期： 2017年4月7日（金）－ 5月28日（日）

会 場： 愛知県美術館 展示室6ほか

開館時間： 10:00－18:00 金曜日は20:00まで（入館は閉館30分前まで）

休 館 日： 毎週月曜日

観 覧 料： 一般500（400）円／高校・大学生300（240）円／中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金です。

※上記料金で、本展およびコレクション展をご覧いただけます。

※下記に該当する方は無料です。

1. 学校行事として来館する高校生および引率者。
2. 「身体障害者手帳」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方。また、その手帳に「第1種」または「1級」と記載のある方に付き添われる方1名。（美術館チケット売場で手帳をお示しになり、付き添いの方はお申し出ください。）

企画 越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）

アーティスト・トーク （作家による展示説明会）

日時 2017年4月7日（金） 18:00－19:30

会場 愛知芸術文化センター12階 アートスペース E・F

※申込み不要、チケットをお持ちの上、会場にお集まりください。

同時開催 「フィンランド・デザイン展」

掲載画像キャプション：

水江未来《DREAMLAND》2017年 デジタル・ビデオ

広報掲載に関する問合せ先

ご掲載記事について、日時・会場・電話番号などの基本情報確認のため、ゲラ刷りを次までFAX もしくはメールでお送りいただきますようお願い致します。

広報担当: 白井 FAX: 052-971-5604 TEL: 052-971-5511(代) email: art11@aac.pref.aichi.jp

展覧会の内容に関する問合せ先

水江未来展担当: 越後谷 TEL: 052-971-5511(代)

記事等には、本展の問合せ先として以下をご掲載ください。

愛知県美術館[愛知芸術文化センター10 階]

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 TEL: 052-971-5511(代) FAX: 052-971-5604

ウェブサイト <http://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

記事作成に関するお願い

画像(図版)をご使用の際は、「配布用画像用キャプション」内の情報を必ずご明記ください。開館中に展覧会会場を写真撮影される場合、フラッシュを伴う撮影はご遠慮いただきますようお願い致します。フラッシュによる撮影をご希望の方は、展覧会一般公開前日の内覧会の際か、休館日、もしくは閉館時間にお問い合わせ致します。

APMoA Project, ARCH とは、作家と愛知県美術館の学芸員との協同によって作られる展覧会です。作家の表現活動をサポートし、作家、美術館、鑑賞者の架け橋となることができれば、という思いを込めて、このプロジェクトを ARCH(アーチ)と名付けました。愛知県美術館の学芸員が、いま当館で紹介するにふさわしい作家を選び、企画展の会期に合わせてご紹介します。

※APMoA は Aichi Prefectural Museum of Art の略称です。